

**製品名:** インターフェロン  $\alpha/\beta$  受容体 1 ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe85714

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 64 kDa; Observed MW: 110-130 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Interferon alpha/beta Receptor 1 IFNAR1; IFNAR; Interferon alpha/beta receptor 1; IFN-R-1; IFN-alpha/beta receptor 1;
別名	Cytokine receptor class-II member 1; Cytokine receptor family 2 member 1; CRF2-1; Type I interferon receptor 1
遺伝子 ID	3454.0
SwissProt ID	P17181
免疫原	ヒトインターフェロン $\alpha/\beta$ 受容体 1 の合成ペプチド

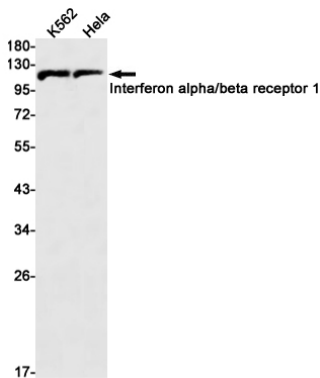
## 背景

インターフェロン  $\alpha$ 、IFNB1、IFNW1 を含む I 型インターフェロン受容体の構成要素。通常は IFNAR2 とヘテロ二量体として機能。I 型インターフェロンの結合は JAK-STAT シグナル伝達カスケードを活性化し、JAK、TYK2、STAT タンパク質、そして IFNR $\alpha$  および  $\beta$  サブユニット自体を含む多数のタンパク質のチロシンリン酸化を誘発する。単独で活性型 IFNB1 受容体を形成し、JAK-STAT 経路の活性化を伴わないシグナル伝達カスケードを活性化することができる。

## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

## 画像データ



インターフェロン  $\alpha/\beta$  受容体 1 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中のインターフェロン  $\alpha/\beta$  受容体 1 のウエスタンブロット分析。